

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2015 助成の概要と推薦理由

助成番号 15-1-3

プロジェクト名 ホスピタル・プレイによる在宅支援システムの構築
団体名 特定非営利活動法人ホスピタル・プレイ協会
代表者名 松平 千佳
所在地 静岡県
助成額 200万円
助成期間 2016年5月1日～2017年4月30日
設立年 2010年
URL <http://hps-japan.net/>



この団体は、病児や障がい児に対して、ホスピタル・プレイ・スペシャリスト（以下、HPS）が行う遊びを使った専門的な支援を通して、子ども達が医療と肯定的な関わりを持てるよう努め、また多様な問題を抱える子ども達すべてに遊びと遊び支援が届くよう、活動に取り組んでいる。

高度な医療的ケアを必要とする子どもたちが、医療政策の変更により入院から在宅へと移行されているケースが増えてきている。入院時の「遊び」の支援は広まりつつあるが、在宅に戻った後は、遊びに触れあう機会も少なく、また親も介護に手一杯で、どのように遊ばばよいのか戸惑い、悩んでいる現状がある。

今回の助成では、在宅で過ごしている医療的ケアの必要な子ども達に対して、遊びを介在させた支援を実際に行いながら、在宅支援の仕組みを検証する。また在宅支援にとって必要とされる地域間の連携や家族との関係、年齢に応じた対応などを国内外の調査を通して検証し、日本の文化・風土に合った支援システムの構築を目指す。

本助成を通じて、HPSが地域の関係機関との連携を築きながら、医療的ケアの必要な子どもと家族を地域全体で支える仕組みを構築されることを期待したい。また在宅支援システムをモデルケースとして全国に広げ、HPSが新しい職域として確立することを期待して助成する。